

根木内歴史公園:湿地の観察会報告(2012/6/12 実施)

2012/6/26 文責/編集:相澤

参加者:相澤、市川、染谷、西澤、山田(洋)

◇全体の感想

雨が降るかどうかわからない微妙なお天気で少人数での観察になりました。ところどころに咲くカワヂシャ、⑤北の池の近くで元気に伸びていたフトイが私には印象的でした。お気に入りをもとめてみると、今回は動物が多く出てきてますね。(相澤)

朝から予報通りの梅雨空...明け方は厚い雲に覆われていましたが集合時間の頃までには、たまに薄くなった雲間からほんの少し日射しが漏れることも...午前中はどうにか持つかもと期待をかけて根木内歴史公園へ...色濃くなった木々の緑、その葉は厚く重なり合い、足元の多くの草もドンドン伸びていて(葎などは2メートル50センチをこえているものも)一面の緑がとても美しい公園でした。少々寒さを感じる程の風も公園を通り抜けていて、葉が擦れ合うざわざわという音が時に大きく時に小さく響いていました。(染谷)

アシの背がかなり高くなって、オオヨシキリのさえずりが聴こえるかと期待したけれど、声はきこえず、ムクドリがキュルキュルと飛び交っていました。いつ雨がふりだしてもおかしくない空もようでの観察会でしたが、午前中なんとか降られずにすみました。(西澤)

◇今日のお気に入り



ザリガニの巣

初めて見ました。いろいろ工夫して生活しているのですね!!(山田)

ザリガニはあぜに穴を掘って農家に嫌われるという話を聞いてはいましたが、実際の深〜い穴は初めて見ました。みんなでヨシを突っ込んでみると、30cm以上掘られている感じがしました。(相澤)

ニホンアカガエル

嬉しかったのはニホンアカガエル...寒さに強く二月から三月頃に産卵するというこの蛙の今年生まれた子供達でしょうか...?湿地のあちこちではねる姿がありました。スマートでちょっと角張った感じのする背中左右には、黄色い筋がまっすぐに平行に走っているので直ぐ判ります。

今までで一番今年はこの時季に見かけることが出来たような...元気に育ち増えていって欲しいです。(染谷)





コナスビ

道端や庭など身近な所に生えている雑草ですが、上にはあまり伸びず、地面の上を這うように伸びるので目立ちません。でも小さな丸い、先が少しとがった葉を持ち上げて、葉の脇に付くこれまた小さい黄色い花をよく見ると、思いがけずきれいです。五つに深い切れ込みのある合弁花でサクラソウ科に分類されています。花の意外な美しさと、あまりピンとこない名前とで気に入ってる雑草です。ちなみに、名前の由来は、実を小さなナスにたとえたものだそうです。(市川)

キアゲハの幼虫も食草の芹の上やどうしてかドクダミの上にいる者もいて、これから蛹になり蝶となって、公園の中を思いっきり飛び回る姿が見られる日もそう遠くはないはず...楽しみです。(染谷)

湿地のセリをさかんにキアゲハの幼虫が食べており、スジだらけになったセリとまるまる太った幼虫クンをみかけました。ジャコウアゲハの幼虫もいましたが、食草のウマノスズクサが、なぜかうなだれておりました。(西澤)

キアゲハの幼虫



マコモ(写真手前)

花はまだ咲いていませんが、葉が風にそよぐ様子はいいかんじです。この葉っぱからコモを編むからマコモだそうです。触ってみると、淵は少し鋭いですが、ひらたい葉っぱはしっかりと、たのもしさがあります。マコモの根っこ部分でしょうか？炊き込みご飯にしたものを以前に食べたことがあります。風がかなりあったので、穂の出始めたガマも風にゆられていい感じでした。(西澤)

草の上で突然銀色に光る丸い物が目に入り、「なんだろう...？」蜘蛛です。白く見える腹部が陽の光を受けると銀色に輝くのです。脚は鮮やかな黄緑色...私は今回初めて見ました。銀色に光っているところを、写真に撮ることは出来ませんでした。また出会ったときには是非銀色に輝く姿もまた見せて欲しいです。(染谷)
曇り空の下で光って見えたこのクモの名前は、コシロカネグモかチュウガタシロカネグモのようです。2種の見分けはちょっと難しいようでギブアップです。(相澤)

シロカネグモの仲間



クサヨシ



今日の観察会は、今にも雨が落ちてきそうな梅雨寒の日でしたが、公園の緑は、盛夏に向かって順調に濃さを増していました。アシ(ヨシ)は、優に人の背丈を越えています。そんなヨシの傍らで、クサヨシの一群が穂をまっすぐに、いっせいに伸ばして、存在を主張しました。クサヨシとは、ヨシに似てるが、細くて柔らかく草っぽいので付いた名だそうです。クサヨシの穂が風にやさしく揺れている様子は、さわやかで、ここが湿地だからこそ見られる魅力的な景色の一つだと思います。(市川)

ドクダミ

梅雨空のもと、緑の木や草原の中、ドクダミの花が数多く群生して咲いていたのが印象深かった。(山田)

庭で見かける野草ですが、湿地の周辺部でたくさん見られました。今日は花が目立ちましたが、いつもは知らずに踏んで匂いでその存在を教えてください。(相澤)



コメツブツメクサ

南の池の端、ザリガニ釣りでにぎわう場所で一本見られました。私は根木内で初めてみます。空き地や道路際ではよく見かけるので、タネが人の足についてきたのかもしれない。葉はツメクサに似たかちで、米粒のような小さな花がまとまってついています。(西澤)

ガマなど

この公園に来ていつも感動するのは直径数ミリしかない沢山の花たち、今日も見ました。黄色いシロツメクサにも似たコメツブグサ、タネツケバナ、ノミノフスマ、カワジシャ、コナスビ、コウガイゼキショウ、キウリグサ...今日はオオイヌノフグリと並んで咲いていたキウリグサ、写真を撮ってみるとその小ささが良く判ります。

ガマの穂やミクリの花は毎年見ていましたが、今年は雌花と雄花の変化していく状態が良く判る花たちを見ることが出来ました。成長過程や仕組みが良く判り、興味深かったです。(染谷)



右にまだ青い花が見えます。

イとコゴメイ



イ



コゴメイ

両方とも穂がでそろっており、今日はバッチリと見分けられました。(これがもっとすすむとわかりづらくなるそうですが) 芯のようすもコゴメイのほうは、梯子段状態でスカスカ。イはみっちりとはまではいきませんでした。つまっているようす。ここで「灯心引き」という言葉をおもいだしました。奈良県のある郷土館で、イグサから芯をひきだしていたのを見たことがあります。行燈や灯明などを灯すのに使用したとかで、白い紐状のものがひきだされていました。あれがイグサだったことを思い出しました。畳表だけではなく灯心にも使われていたんですね。中身がみっちりつまっていなければ灯心にはならないかと納得。(西澤)

根木内歴史公園の湿地の観察会は毎月第2火曜日に行っています。7月は10日(火)(雨天時は11日(水)に延期)に行います。

9:30に公園駐車場に集合で、昼まで観察を行い公園内で昼食を食べます。多くの虫に出会えるでしょうか?暑さ対策を忘れずに!!

お問い合わせ(千葉大・相澤)

E-mail: akihitoaizawa@gmail.com